

# 平成29年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般    マスタープラン：    3つの挑戦    /    施策番号 1-2

局・課名： 健康福祉局・生活援護管理課

<b>事業名</b>	<b>生活保護適正化(本庁)</b>		<b>事業費(千円)</b>	平成27年度決算額 137,045	平成28年度予算額 163,658	平成29年度要求額 106,751
	<b>【目的】</b>			<b>期間</b>	<b>要求額(千円)</b>	
	生活保護の適正化の推進を図ることにより、適切な運営を確保する。		<b>債務負担行為</b>	H29 ~ H30		3,000
<b>【内容】</b>			<b>主な要求内容</b>		(単位:千円)	
<b>事業概要</b>	<p>&lt;診療報酬明細書等点検充実事業&gt;レセプト点検を専門業者に委託し、点検の強化を図る。また、有資格者を施術点検員として雇用し、内容点検等に從事させることで医療扶助の適正化を図る。</p> <p>&lt;医療扶助適正実施推進事業&gt;薬剤師資格をもつ「医療扶助相談・指導員」を雇用し、調剤の重複処方へのチェックや各ケースワーカーからの調剤に関する相談等の業務に從事させることで医療扶助の適正化を図る。</p> <p>&lt;介護扶助実施体制整備強化事業&gt;専門の調査員を雇用し、ケアプランチェック等の業務に從事させることで介護扶助の適正化を図る。</p> <p>&lt;体制整備事業&gt;生活保護面接相談員を雇用し、専門的な面接相談業務に從事させることで、真に保護を要する者が適切に保護を受けることができる体制を整備する。</p> <p>&lt;収入資産・扶養義務調査等充実事業&gt;専門の調査員を雇用し、被保護者の年金・手当等の受給権の調査や扶養義務者への援助依頼等に從事させることで生活保護の適正化を図る。</p> <p>&lt;関係職員研修・啓発事業&gt;経験年数別ケースワーカー研修の実施・派遣研修への参加等を通じて優れた人材の育成を行う。</p> <p>&lt;居住生活サポート事業&gt;平成25年6月から実施してきた高齢者住宅等調査事業の成果をふまえ、新たに長期入院等となっている被保護者の退院促進・地域移行支援を委託事業として実施する。</p>		項目	28年度予算	29年度要求額	内容・積算等
			人件費	14,140	14,296	報酬、賃金
			旅費	2,088	2,319	費用弁償、普通旅費
			需用費	6,560	7,979	コピー用紙、書籍、修繕料等
			役務費	943	943	通知送付、保険料等
			業務委託料	123,263	80,766	生活保護システム関連業務、診療報酬点検業務内容審査
			使用料	16,526	56	ETCカード使用料等
			その他	138	392	備品購入費、研修講師謝礼金、研修参加費
			合計	163,658	106,751	
<b>【今年度要求のポイント】</b>			生活保護の適正化の推進を図るために必要な人件費、事務経費を予算要求する。		<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>	
			<b>【経過(～28年度)】</b>	<b>【29年度】</b>	<b>【今後予定(30年度～)】</b>	
			H23 面接相談員の拡充(7名増) H24 医療扶助相談・指導員配置 H25 高齢者住宅等調査事業実施 H28 高齢者住宅等調査事業の事業内容を見直し	居住生活サポート事業実施	事業の随時見直し・継続実施	
<b>その他 特記事項</b>						
みんなの審査会対象外 関連事業:生活保護適正化(各区)						

整理番号： 11 - 3 - 0220